

滋賀県

滋賀県教育委員会

滋賀県健康医療福祉部

- 24時間、365日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

24時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決 **未回答** して担わないこと
3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

実施状況

年間のおおよその相談件数

未回答

(参考) 令和2年の滋賀県の5-19歳の人口: 211,370人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳

未回答

(Q3-3)

24時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

- 1. 全対象学校でのお知らせ等（チラシ、ポスター等）の配布

- 2. 一部の学校でのお知らせ等（チラシ、ポスター等）の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

- 1. 行っている **未回答** 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている **未回答** 行っていない

(Q4-2)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0	委託運営						
6	委託運営						
12	自主運営						
18	自主運営						
24	自主運営						

(Q1-9)

※祝日・年末年始も同じ体制

(Q1-10)

委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外 **未回答** する非営利団体
3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
4. その他

(Q1-11)

委託理由

担当部署の負担軽減

(Q1-12)

対象

対象者

自主運営の場合

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	○
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	○

対象者

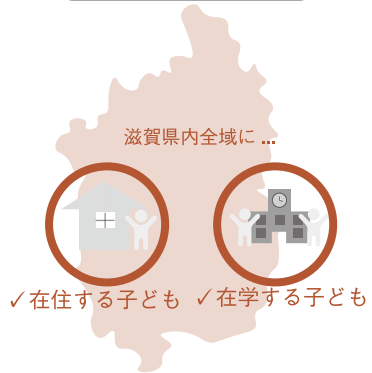
委託運営の場合

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	×
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

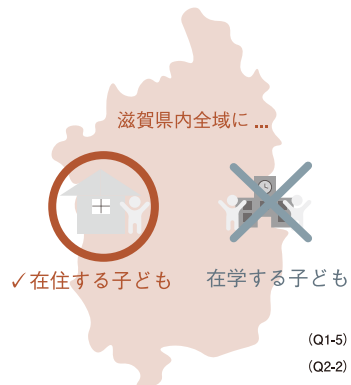
(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営の場合



委託運営の場合



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

未回答

未回答

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

未回答

未回答

(Q2-5)

京都府

京都府教育委員会

- ☑ 24時間、365日対応
- ☑ 一部時間帯で他機関へ委託

24時間子供SOSダイヤルの主たる目的

1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと
- ✓ 3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

※対象者のニーズや主体によって異なる

実施状況

年間のおおよその相談件数

把握していない・わからない

※京都府の電話相談と兼ねているためSOSダイヤルのみの件数は把握していません

(参考) 令和2年の京都府の5-19歳の人口: 331,747人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳

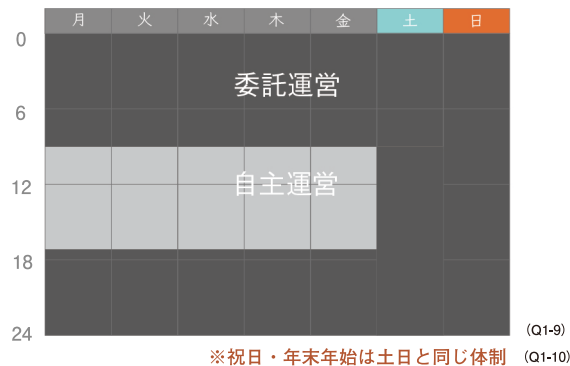
未回答

※京都府の電話相談と兼ねているため24時間SOSダイヤルのみの割合は把握できていません

(Q3-3)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体



(Q1-9)

(Q1-10)

委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
- ✓ 3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
4. その他

(Q1-11)

委託理由

夜間や休日等の時間帯は担当部署の職員では対応が難しいため

(Q1-12)

24時間子供SOSダイヤルの何らか周知活動

- ✓ 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

- ✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等（チラシ、ポスター等）の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等（チラシ、ポスター等）の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ

指定都市(京都市)を除く京都市内全域に...



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・
カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者

4. 元教員など
学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

✓ 6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・
助産師・保健師

9. キャリア
コンサルタント

10. その他の
有資格者など

11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

京都市

京都市教育委員会生徒指導課

- ☑ 24 時間、365 日対応
- ☑ 一部時間帯で他機関へ委託

24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

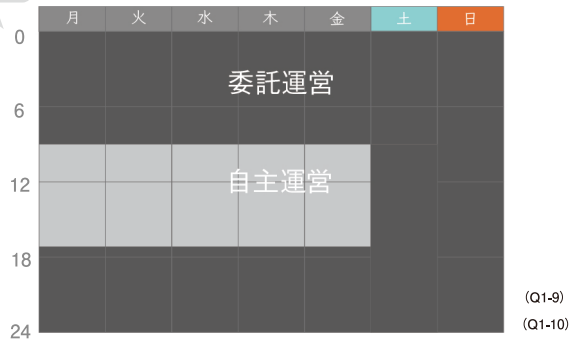
- ✓ 1. 自機関が主体となって
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
- ✓ 2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、
悩みの解決までは主体となって担わないこと
- ✓ 3. 子どもの話し相手となり、
悩みの解決までは主体となって担わないこと
- ✓ 4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）
の悩みに寄り添い解決すること

※相談内容による

(Q1-7)

委託について

委託されている主な時間帯



※祝日・年末年始は土日と同じ体制

委託先の業種

- 1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
- 2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
- ✓ 3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業

✓ 4. その他

（各種ホットライン、電話相談、情報提供サービス等
※令和2年度実績。
毎年入札で決定しているため変更の可能性有り

(Q1-11)

委託理由

年中無休・24時間の相談体制を確保するため

(Q1-12)

実施状況

年間のおおよその相談件数

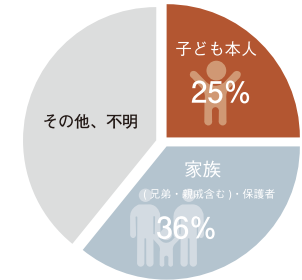
4576 件

※令和元年度実績

(参考) 令和2年の京都市の5-19歳の人口: 171,820人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります

(Q3-3)

24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- ✓ 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

- ✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウント
の運用・紹介

5. Instagram アカウント
の運用・紹介

6. LINE アカウント
の運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

3. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

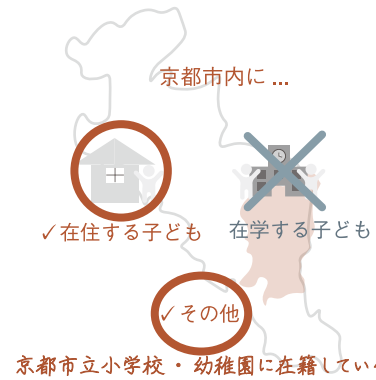
自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

※京都市以外の京都府内からかかってきた場合、対応することがあります

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

2. 上記以外の心理士・
カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者

✓ 4. 元教員など
学校現場の経験者

✓ 5. その他
(電話相談業務経験者)

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・
助産師・保健師

9. キャリア
コンサルタント

10. その他の
有資格者など

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

大阪府

大阪府教育庁市町村教育室
小中学校課生徒指導グループ

- ☑ 24 時間、365 日対応
- ☑ 全ての時間帯で他機関へ委託

24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

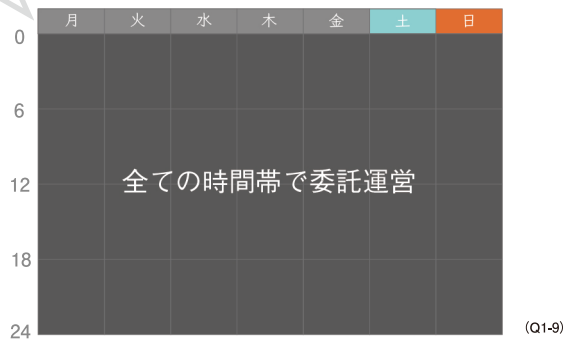
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体



※祝日・年末年始も同じ体制 (Q1-9) (Q1-10)

委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業

✓ 4. その他

（ 昼：平日 9：30～17：30 は大阪府教育センター相談室 /
夜：平日 17：30～9：30 及び土日祝は民間相談機関 ）

(Q1-11)

委託理由

未回答

(Q1-12)

実施状況

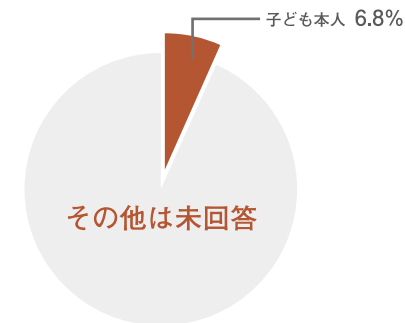
年間のおおよその相談件数

2700 件

(参考) 令和 2 年の大阪府の 5-19 歳の人口: 1,149,638 人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため 100%にならない場合があります

(Q3-3)

24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	×
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

指定都市(大阪市・堺市)を除く大阪府内全域に...



✓ 在住する子ども ✓ 在学する子ども

(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

2. 上記以外の心理士・
カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者

✓ 4. 元教員など
学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

✓ 1. 臨床心理士・
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・
助産師・保健師

9. キャリア
コンサルタント

10. その他の
有資格者など

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

大阪市

大阪市子ども相談センター

- 24時間、365日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

24時間子供SOSダイヤルの主たる目的

1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
- ✓ 2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと
3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0	委託運営						
6	委託運営						
12	自主運営						
18	自主運営						
24	委託運営						

(Q1-9)

※祝日・年末年始は土日と同じ体制

(Q1-10)

委託先の業種

- ✓ 1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
4. その他

(Q1-11)

委託理由

子どもが相談しやすい夜間・土曜日・日曜日・祝日を含めて24時間対応できる体制を整備するため平日の昼間の電話教育相談を補完するものとして事業を委託している。

(Q1-12)

実施状況

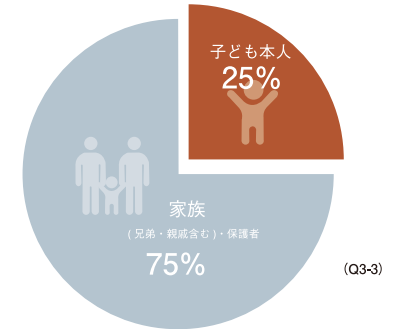
年間のおおよその相談件数

3700 件

(参考) 令和2年の大阪市の5-19歳の人口: 309,222人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳



(Q3-3)

※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります

24時間子供SOSダイヤルの何らかの周知活動

- ✓ 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

1. 全対象学校でのお知らせ等(チラシ、ポスター等)の配布
- ✓ 1. 一部の学校でのお知らせ等(チラシ、ポスター等)の配布
(大阪市の小学校、中学校、高等学校の欠席生徒に配布している)
3. 授業内での紹介
4. Twitterアカウントの運用・紹介
5. Instagramアカウントの運用・紹介
6. LINEアカウントの運用・紹介
7. 児童館での周知
8. 図書館での周知
9. バスや電車などでの周知
10. 塾・習い事などでの周知
11. NPOなどへの周知
12. ローカルCM(テレビなど)
- ✓ 13. その他
(市のwebページ等)
14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)
(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理士・
カウンセラーなど
- ✓ 3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者
- 4. 元教員など
学校現場の経験者
- ✓ 5. その他
(精神保健福祉士、
社会福祉士等)

委託運営の場合

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- ✓ 2. 上記以外の心理士・
カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者
- ✓ 4. 元教員など
学校現場の経験者
- ✓ 5. その他
(精神保健福祉士、
社会福祉士等)

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営・委託運営同じ

- ✓ 1. 臨床心理士・
公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・
精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・
助産師・保健師
- 9. キャリア
コンサルタント
- 10. その他の
有資格者など
- 11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

堺市

堺市教育委員会事務局教育センター
企画情報課教育相談グループ

- 24 時間、365 日対応
- 全ての時間帯で委託運営

24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

全ての時間帯で委託運営

(Q1-9)

(Q1-10)

※祝日・年末年始も同じ体制

委託先の業種

- 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
- 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
- コールセンター等を主たるサービスとする民間企業

✓ 4. その他

(電話相談を主たるサービスとする民間企業)

(Q1-11)

委託理由

電話相談の安定した実施のため

(Q1-12)

実施状況

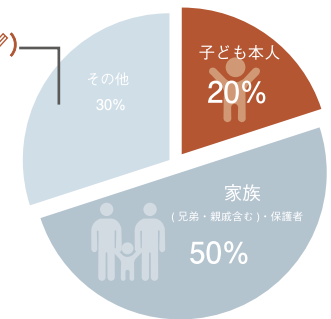
年間のおおよその相談件数

未回答

(参考) 令和2年の堺市の5-19歳の人口: 115,684人

(詳細:
相談対象外)

相談者のおおよその内訳



(Q1-6)

※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります

(Q3-3)

24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

✓ 13. その他

(市のホームページ)

14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

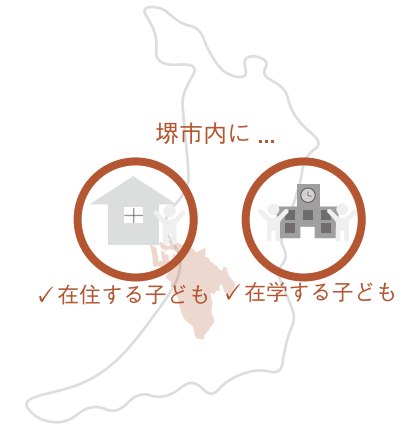
対象

対象者

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性



(Q1-5)
(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者

4. 元教員など
学校現場の経験者

✓ 5. その他
(有資格者。精神保健福祉士、
社会福祉士など)

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

✓ 1. 臨床心理士・
公認心理師

2. 弁護士

✓ 3. 社会福祉士・
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・
助産師・保健師

9. キャリア
コンサルタント

10. その他の
有資格者など

11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

兵庫県

兵庫県教育委員会事務局義務教育課

- 24 時間、365 日対応
- 委託運営の有無については公表不可

24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

1. 自機関が主体となって
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、
悩みの解決まで **該当なし**
相談者に寄り添い悩みを聞くこと
悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）
の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

(Q1-9)

(Q1-10)

公表不可

委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外のサービスを提供する非営利団体
3. コールセンターなどのサービスを提供する民間企業
4. その他

公表不可

(Q1-11)

委託理由

公表不可

(Q1-12)

実施状況

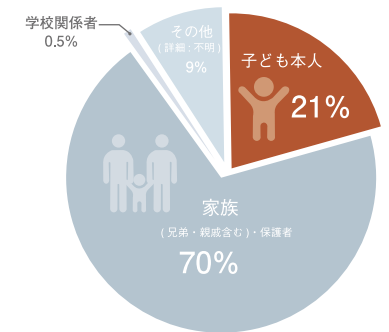
年間のおおよその相談件数

4900 件

(参考) 令和 2 年の兵庫県の 5-19 歳の人口: 750,002 人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳



※友人・恋人など: 不明

※回答のまま記載しているため 100%にならない場合があります

(Q3-3)

24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

- 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

- 2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

- 3. 授業内での紹介

- 4. Twitter アカウントの運用・紹介

- 5. Instagram アカウントの運用・紹介

- 6. LINE アカウントの運用・紹介

- 7. 児童館での周知

- 8. 図書館での周知

- 9. バスや電車などでの周知

- 10. 塾・習い事などでの周知

- 11. NPO などへの周知

- 12. ローカル CM (テレビなど)

- 13. その他

- 14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

自主運営の場合

	在学中	不登校	中途退学
小学生	○	○	
中学生	○	○	
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○
特別支援学校等	○	○	○

小学生未満	○
学校等に在学していない未成年	○
大学生 (20歳未満)	×
大学生 (20歳以上)	×

委託運営の場合

	在学中	不登校	中途退学
小学生			
中学生			
高校生 (通信・定時制含む)			
特別支援学校等			

小学生未満	
学校等に在学していない未成年	
大学生 (20歳未満)	
大学生 (20歳以上)	

公表不可

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営の場合



委託運営の場合



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外のカウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

公表不可

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外のカウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

公表不可

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など

公表不可

- 11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など

公表不可

- 11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

神戸市

神戸市教育委員会

- ☑ 24時間、365日対応
- ☑ 一部時間帯で他機関へ委託

24時間子供SOSダイヤルの主たる目的

1. 自機関が主体となって
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、
悩みの解決まで主体とならないこと
該当項目なし
3. 子どもの話し相手となり、
悩みの解決までは主体とならずに
サポートすること
4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)
の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0	委託運営						
6	委託運営						
12	自主運営						
18	委託運営						
24	委託運営						

(Q1-9)

※祝日・年末年始は土日と同じ体制

(Q1-10)

委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業

✓ 4. その他

(相談窓口業務を担う民間企業)

(Q1-11)

委託理由

子どもや保護者からのいじめや体罰、
その他学校生活にかかわる悩み等に関する
相談体制を充実させるため、夜間・休日
にも対応できる相談窓口を設置し24時間体制で対応する

(Q1-12)

実施状況

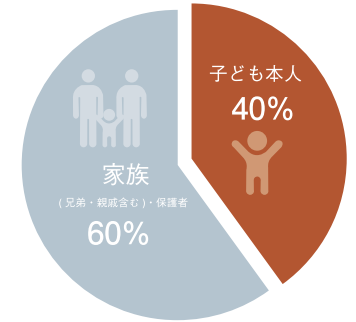
年間のおおよその相談件数

484件

(参考) 令和2年の神戸市の5-19歳の人口: 199,220人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります

(Q3-1)

24時間子供SOSダイヤルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

✓ 3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウント
の運用・紹介

5. Instagram アカウント
の運用・紹介

6. LINE アカウント
の運用・紹介

✓ 7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

※利用者より接続しにくいなどの意見は聞いていない

利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学
小学生	○	○	
中学生	○	○	
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○
特別支援学校等	○	○	○

小学生未満	×
学校等に在学していない未成年	×
大学生 (20歳未満)	×
大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・
カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者

✓ 4. 元教員など
学校現場の経験者

5. その他

委託運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者

4. 元教員など
学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・
精神保健福祉士

✓ 4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・
助産師・保健師

9. キャリア
コンサルタント

10. その他の
有資格者など

11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

委託運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・
助産師・保健師

9. キャリア
コンサルタント

10. その他の
有資格者など

11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

奈良県

奈良県立教育研究所

- 24 時間、365 日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体



※祝日・年末年始も同じ体制

(Q1-9)

(Q1-10)

委託先の業種

✓ 1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体

✓ 2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体

3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業

4. その他 (Q1-11)

委託理由

電話相談員の雇用に関する予算の事情

(Q1-12)

実施状況

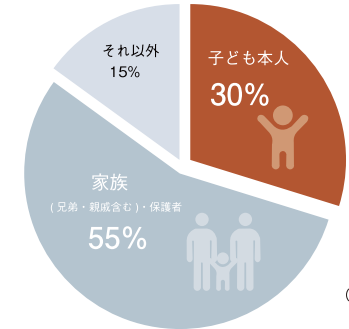
年間のおおよその相談件数

2000 件

(参考) 令和 2 年の奈良県の 5-19 歳の人口: 179,657 人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳



(Q3-3)

※回答のまま記載しているため 100%にならない場合があります

24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

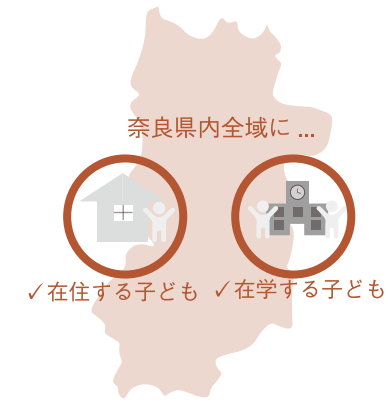
	在学中	不登校	中途退学
小学生	○	○	
中学生	○	○	
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○
特別支援学校等	○	○	○

小学生未満	○
学校等に在学していない未成年	×
大学生 (20歳未満)	×
大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者

✓ 4. 元教員など
学校現場の経験者

5. その他

委託運営の場合

1. 臨床心理士・公認心理師

分らない・把握していない
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者

4. 元教員など
学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・
公認心理師

2. 弁護士

✓ 3. 社会福祉士・
精神保健福祉士

✓ 4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

✓ 6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・
助産師・保健師

9. キャリア
コンサルタント

10. その他の
有資格者など

委託運営の場合

1. 臨床心理士・
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

分らない・把握していない
看護師・
助産師・保健師

9. キャリア
コンサルタント

10. その他の
有資格者など

(Q2-5)

和歌山県

和歌山県教育委員会教育支援課

- 24時間、365日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

24時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

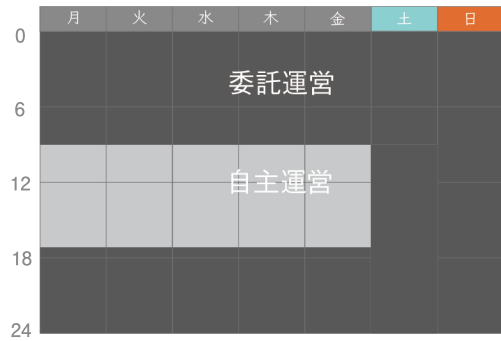
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体



委託先の業種

- 1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
- 2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
- ✓ 3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
- 4. その他

委託理由

当組織の人員配置上の都合による

実施状況

年間のおおよその相談件数

回答は控えます

(参考) 令和2年の和歌山県の5-19歳の人口: 120,976人

(Q1-6)

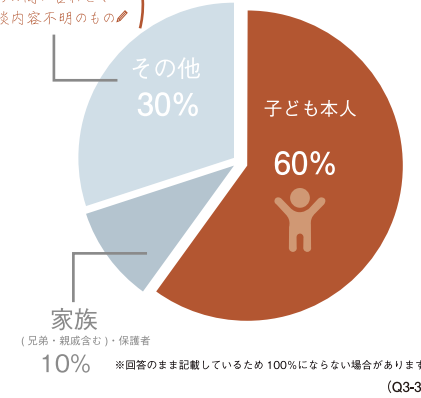
24時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- ✓ 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

相談者のおおよその内訳

詳細:
一般の方からの問い合わせや
ご意見、相談内容不明のもの



周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

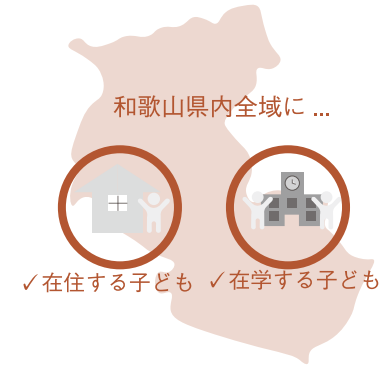
自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	×
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	×	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	×	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

2. 上記以外の心理士・
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者

4. 元教員など
学校現場の経験者

✓ 5. その他
(和歌山県教育委員会
教育相談主事)

委託運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

2. 上記以外の心理士・
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者

4. 元教員など
学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・
助産師・保健師

9. キャリア
コンサルタント

10. その他の
有資格者など

11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

委託運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・
公認心理師

2. 弁護士

✓ 3. 社会福祉士・
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・
助産師・保健師

9. キャリア
コンサルタント

10. その他の
有資格者など

11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)



- 24 時間、365 日対応
- 委託の有無について未回答

24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

1. 自機関が主体となって
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、
悩みの解決 **未回答** て担わないこと
3. 子どもの話し相手となり、
悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）
の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

実施状況

年間のおおよその相談件数

未回答

(参考) 令和 2 年の鳥取県の 5-19 歳の人口: 75,329 人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳

未回答

(Q3-3)

24 時間子供 SOS ダイアルの何らか周知活動

- 1. している
- 2. していない (Q3-1)

周知活動の内容詳細

1. 全対象学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布
※大学除く

2. 一部の学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウント
の運用・紹介

5. Instagram アカウント
の運用・紹介

6. LINE アカウント
の運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

(ホームページ)

14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

1. 行っていない **未回答** っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

1. 行っていない **未回答** っていない

(Q4-2)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

0	月	火	水	木	金	土	日
6							
12							
18							
24							

未回答

(Q1-9)

(Q1-10)

委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外 **未回答** とする非営利団体
3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
4. その他

(Q1-11)

委託理由

未回答

(Q1-12)

対象

自主運営の場合

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	○
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	○

対象者

委託運営の場合

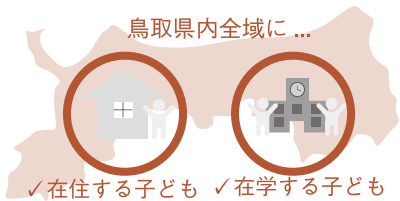
	在学中	不登校	中途退学		
小学生				小学生未満	
中学生				学校等に在学していない未成年	
高校生 (通信・定時制含む)				大学生 (20歳未満)	
特別支援学校等				大学生 (20歳以上)	

未回答

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営の場合



委託運営の場合



(Q1-5)
(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

未回答

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

未回答

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士・保健師
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など

未回答

- 11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士・保健師
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など

未回答

- 11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

島根県

島根県教育委員会教育指導課

- 24 時間、365 日対応
- 委託運営の有無について未回答

24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

1. 自機関が主体となって
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、
悩みの解決 **未回答** して担わないこと
3. 子どもの話し相手となり、
悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）
の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

0	月	火	水	木	金	土	日
6							
12							
18							
24							

未回答

(Q1-9)

(Q1-10)

委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外 **未回答** とする非営利団体
3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
4. その他

(Q1-11)

委託理由

未回答

(Q1-12)

実施状況

年間のおおよその相談件数

未回答

(参考) 令和 2 年の島根県の 5-19 歳の人口: 89,721 人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳

未回答

(Q3-3)

24 時間子供 SOS ダイアルの何らか周知活動

- 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

- 1. 全対象学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

- 2. 一部の学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

- 3. 授業内での紹介

- 4. Twitter アカウント
の運用・紹介

- 5. Instagram アカウント
の運用・紹介

- 6. LINE アカウント
の運用・紹介

- 7. 児童館での周知

- 8. 図書館での周知

- 9. バスや電車などでの周知

- 10. 塾・習い事などでの周知

- 11. NPO などへの周知

- 12. ローカル CM(テレビなど)

- 13. その他

- 14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

自主運営の場合

	在学中	不登校	中途退学
小学生	○	○	
中学生	○	○	
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○
特別支援学校等	○	○	○

小学生未満	○
学校等に在学していない未成年	○
大学生 (20歳未満)	×
大学生 (20歳以上)	×

対象者

委託運営の場合

	在学中	不登校	中途退学
小学生			
中学生			
高校生 (通信・定時制含む)			
特別支援学校等			

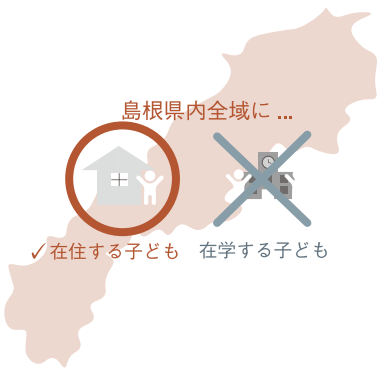
小学生未満	
学校等に在学していない未成年	
大学生 (20歳未満)	
大学生 (20歳以上)	

未回答

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営の場合



委託運営の場合



(Q1-5)
(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

未回答

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

未回答

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士・保健師
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

未回答

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士・保健師
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

未回答

(Q2-5)

岡山県

岡山県教育委員会義務教育課
生徒指導推進室

- ☑ 24時間、365日対応
- ☑ 全ての時間で自主運営

24時間子供SOSダイヤルの主たる目的

1. 自機関が主体となって
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、
悩みの解決 **未回答** して担わないこと
3. 子どもの話し相手となり、
悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)
の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

全ての時間帯で自主運営

(Q1-9)

※祝日・年末年始も同じ体制

(Q1-10)

実施状況

相談者のおおよその内訳

年間のおおよその相談件数

未回答

(参考) 令和2年の岡山県の5-19歳の人口: 260,452人

(Q1-6)

未回答

(Q3-3)

24時間子供SOSダイヤルの何らかの周知活動

- ✓ 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

- ✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

- 2. 一部の学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

- 3. 授業内での紹介

- 4. Twitterアカウント
の運用・紹介

- 5. Instagramアカウント
の運用・紹介

- 6. LINEアカウント
の運用・紹介

- 7. 児童館での周知

- 8. 図書館での周知

- 9. バスや電車などでの周知

- 10. 塾・習い事などでの周知

- 11. NPO などへの周知

- 12. ローカルCM(テレビなど)

- ✓ 13. その他

(機関紙等)

- 14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

- 1. 行っていない **未回答**

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っていない **未回答**

(Q4-2)

対象

対象者

	在学中	不登校	中途退学
小学生			
中学生			
高校生 (通信・定時制含む)			
特別支援学校等			

小学生未満	
学校等に在学 していない未成年	
大学生 (20歳未満)	
大学生 (20歳以上)	

未回答

(Q2-1)

対象地域と対象属性



(Q1-5)
(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理士
カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者
- 4. 元教員など
学校現場の経験者
- 5. その他

未回答

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・保健師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

未回答

(Q2-5)

広島県

広島県教育委員会事務局学びの革新推進部

豊かな心と身体育成課

- 24時間、365日対応
- 全ての時間で自主運営

24時間子供SOSダイヤルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

全ての時間帯で自主運営

(Q1-9)

※祝日・年末年始も同じ体制

(Q1-10)

実施状況

年間のおおよその相談件数

150件

(参考)令和2年の広島県の5-19歳の人口: 386,194人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳

匿名での相談のため
把握できていない

(Q3-3)

24時間子供SOSダイヤルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitterアカウント
の運用・紹介

5. Instagramアカウント
の運用・紹介

6. LINEアカウント
の運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカルCM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	○
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	○

(Q2-1)

対象地域と対象属性

指定都市(広島市)を除く広島県全域に...



(Q1-5)
(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- ✓ 5. その他(詳細:未回答)

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

- ✓ 1. 臨床心理士・公認心理師
- ✓ 2. 弁護士
- ✓ 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- ✓ 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- ✓ 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・助産師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

広島市

広島市教育委員会青少年育成部育成課
(広島市青少年総合相談センター)

24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、
悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、
悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)
の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

- ✓ 24 時間、365 日対応
- ✓ 全ての時間帯で自主運営

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

全ての時間帯で自主運営

(Q1-9)

※祝日・年末年始も同じ体制

(Q1-10)

実施状況

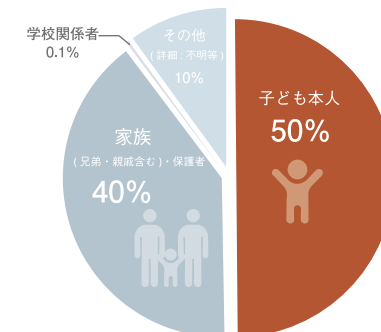
年間のおおよその相談件数

1500 件

(参考) 令和 2 年の広島市の 5-19 歳の人口: 244,174 人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため 100%にならない場合があります

(Q3-1)

24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウント
の運用・紹介

5. Instagram アカウント
の運用・紹介

6. LINE アカウント
の運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-3)

接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	○
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	○

(Q2-1)

対象地域と対象属性



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・
カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者

4. 元教員など
学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

✓ 1. 臨床心理士・
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・
助産師・保健師

9. キャリア
コンサルタント

10. その他の
有資格者など

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

香川県

香川県教育委員会

- 24 時間、365 日対応
- 委託運営の有無について **未回答**

24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

- 自機関が主体となって
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
- 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、
悩みの解決 **未回答** して担わないこと
- 子どもの話し相手となり、
悩みの解決までは主体となって担わないこと
- 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)
の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

未回答

(Q1-9)

(Q1-10)

委託先の業種

- 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
- 子ども支援以外 **未回答** とする非営利団体
- コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
- その他

(Q1-11)

委託理由

未回答

(Q1-12)

実施状況

年間のおおよその相談件数

**把握していない・
分からない**

(参考) 令和2年の香川県の5-19歳の人口: 131,503人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳

未回答

(Q3-3)

24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

- 1. 全対象学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

- 2. 一部の学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

- 3. 授業内での紹介

- 4. Twitter アカウント
の運用・紹介

- 5. Instagram アカウント
の運用・紹介

- 6. LINE アカウント
の運用・紹介

- 7. 児童館での周知

- 8. 図書館での周知

- 9. バスや電車などでの周知

- 10. 塾・習い事などでの周知

- 11. NPO などへの周知

- 12. ローカル CM(テレビなど)

- 13. その他

- 14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

- 1. 行っている **未回答** っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

自主運営の場合

	在学中	不登校	中途退学		
小学生				小学生未満	
中学生				学校等に在学していない未成年	
高校生 (通信・定時制含む)				大学生 (20歳未満)	
特別支援学校等				大学生 (20歳以上)	

未回答

(Q2-1)

対象者

委託運営の場合

	在学中	不登校	中途退学		
小学生				小学生未満	
中学生				学校等に在学していない未成年	
高校生 (通信・定時制含む)				大学生 (20歳未満)	
特別支援学校等				大学生 (20歳以上)	

未回答

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営の場合



委託運営の場合



(Q1-5)
(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

未回答

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

未回答

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士・保健師
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし (アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

未回答

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士・保健師
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし (アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

未回答

(Q2-5)

愛媛県

愛媛県教育委員会

- 24時間、365日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

24時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

- 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
- 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決 **未回答** して担わないこと
- 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと
- 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

実施状況

年間のおおよその相談件数

460件

※令和元年度値

(参考) 令和2年の愛媛県の5-19歳の人口: 177,445人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳

未回答

(Q3-3)

24時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

- 1. 全対象学校でのお知らせ等（チラシ、ポスター等）の配布

- 2. 一部の学校でのお知らせ等（チラシ、ポスター等）の配布

- 3. 授業内での紹介

- 4. Twitter アカウントの運用・紹介

- 5. Instagram アカウントの運用・紹介

- 6. LINE アカウントの運用・紹介

- 7. 児童館での周知

- 8. 図書館での周知

- 9. バスや電車などでの周知

- 10. 塾・習い事などでの周知

- 11. NPO などへの周知

- 12. ローカル CM(テレビなど)

- 13. その他

- 14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-2)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体



(Q1-9)

※祝日・年末年始は土日と同じ体制 (Q1-10)

委託先の業種

- 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
- 子ども支援以外のサービスとする非営利団体
- コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
- その他

未回答

(Q1-11)

委託理由

未回答

(Q1-12)

対象

対象者

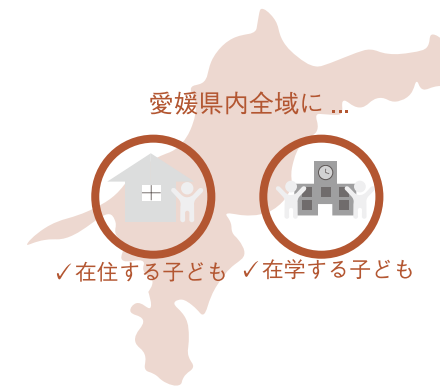
自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	×
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・
カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者

✓ 4. 元教員など
学校現場の経験者

✓ 5. その他
(指導主事)

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・
公認心理師

2. 弁護士

✓ 3. 社会福祉士・
精神保健福祉士

✓ 4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

✓ 6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・
助産師・保健師

9. キャリア
コンサルタント

10. その他の
有資格者など

11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

高知県

高知県心の教育センター

- 24 時間、365 日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

1. 自機関が主体となって
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、
悩みの解決 **未回答** して担わないこと
3. 子どもの話し相手となり、
悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）
の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0	委託運営						
6	委託運営						
12	自主運営						
18	委託運営						
24	委託運営						

(Q1-9)

※祝日・年末年始は土日と同じ体制

(Q1-10)

委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外 **未回答** とする非営利団体
3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
4. その他

(Q1-11)

委託理由

未回答

(Q1-12)

実施状況

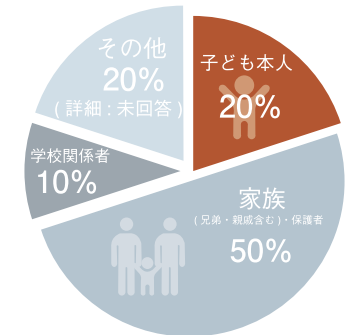
年間のおおよその相談件数

900 件

(参考) 令和2年の高知県の5-19歳の人口: 86,618人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳



(Q3-3)

※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります

24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

- 1. 全対象学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

- 2. 一部の学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

- 3. 授業内での紹介

- 4. Twitter アカウント
の運用・紹介

- 5. Instagram アカウント
の運用・紹介

- 6. LINE アカウント
の運用・紹介

- 7. 児童館での周知

- 8. 図書館での周知

- 9. バスや電車などでの周知

- 10. 塾・習い事などでの周知

- 11. NPO などへの周知

- 12. ローカル CM(テレビなど)

- 13. その他

- 14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者

4. 元教員など
学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営・委託運営同じ

✓ 1. 臨床心理士・
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・
助産師・保健師

9. キャリア
コンサルタント

10. その他の
有資格者など

11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

福岡県

福岡県教育委員会

- 24時間、365日対応
- 全ての時間帯で自主運営

24時間子供 SOS ダイヤルの主たる目的

1. 自機関が主体となって
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、
悩みの解決 **未回答** て担わないこと
3. 子どもの話し相手となり、
悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周りにいる大人(親、先生など)
の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

実施状況

年間のおおよその相談件数

未回答

(参考) 令和2年の福岡県の5-19歳の人口: 710,634人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳

未回答

24時間子供 SOS ダイヤルの何らかの周知活動

- 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

(Q3-3)

周知活動の内容詳細

- 1. 全対象学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

- 2. 一部の学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

- 3. 授業内での紹介

- 4. Twitter アカウント
の運用・紹介

- 5. Instagram アカウント
の運用・紹介

- 6. LINE アカウント
の運用・紹介

- 7. 児童館での周知

- 8. 図書館での周知

- 9. バスや電車などでの周知

- 10. 塾・習い事などでの周知

- 11. NPO などへの周知

- 12. ローカル CM(テレビなど)

- 13. その他

- 14. 何も実施していない

(Q3-2)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

全ての時間帯で自主運営

(Q1-9)

※祝日・年末年始も同じ体制

(Q1-10)

接続率についての調査

- 1. 行っていない **未回答**

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っていない **未回答**

(Q4-2)

対象

対象者

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	×		小学生未満	×
中学生	○	×		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	×	×	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	×	×	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

1. 臨床心理士・公認心理師

2. 上記以外の心理
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者

4. 元教員など
学校現場の経験者

5. その他

未回答

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

1. 臨床心理士・
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・
助産師・保健師

9. キャリア
コンサルタント

10. その他の
有資格者など

未回答

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

福岡市

福岡市こども総合相談センター

24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、
悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、
悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)
の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

年末年始を除く毎日 24 時間

委託の有無について未回答

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

未回答

(Q1-9)
(Q1-10)

委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外のサービスとする非営利団体
3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
4. その他

未回答

(Q1-11)

委託理由

未回答

(Q1-12)

実施状況

年間のおおよその相談件数

把握していない・
わからない

(参考) 令和 2 年の福岡市の 5-19 歳の人口: 210,189 人 (Q1-6)

相談者のおおよその内訳

未回答

(Q3-3)

24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウント
の運用・紹介

5. Instagram アカウント
の運用・紹介

6. LINE アカウント
の運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

1. 行って未回答っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

1. 行って未回答っていない

(Q4-2)

対象

自主運営の場合

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	×
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

対象者

委託運営の場合

	在学中	不登校	中途退学		
小学生				小学生未満	
中学生				学校等に在学していない未成年	
高校生 (通信・定時制含む)				大学生 (20歳未満)	
特別支援学校等				大学生 (20歳以上)	

未回答

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営の場合



委託運営の場合



(Q1-5)
(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

未回答

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

未回答

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉師・保健師
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし (アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

未回答

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉師・保健師
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など
- 11. 該当なし (アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

未回答

(Q2-5)

北九州市

北九州市子ども総合センター

- 24 時間、365 日対応
- 全ての時間帯で自主運営

24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

1. 自機関が主体となって
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、
悩みの解決までは主体となって担わないこと
3. 子どもの話し相手となり、
悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）
の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

実施状況

年間のおおよその相談件数

把握していない・
分からない

(参考) 令和 2 年の北九州市の 5-19 歳の人口: 124,949 人 (Q1-6)

相談者のおおよその内訳

回答を控えます

24 時間子供 SOS ダイアルの何らか周知活動

- 1. している
- 2. していない (Q3-1)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

全ての時間帯で自主運営

(Q1-9)
(Q1-10)

※祝日・年末年始も同じ体制

周知活動の内容詳細

- 1. 全対象学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布
- 2. 一部の学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布
- 3. 授業内での紹介
- 4. Twitter アカウント
の運用・紹介
- 5. Instagram アカウント
の運用・紹介
- 6. LINE アカウント
の運用・紹介
- 7. 児童館での周知

- 8. 図書館での周知
- 9. バスや電車などでの周知
- 10. 塾・習い事などでの周知
- 11. NPO などへの周知
- 12. ローカル CM(テレビなど)
- 13. その他
- 14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	×
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

※18歳未満が対象

(Q2-1)

対象地域と対象属性



(Q1-5)
(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

1. 臨床心理士・公認心理師

2. 上記以外
カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者

4. 元教員など
学校現場の経験者

5. その他

回答を控えます

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

1. 臨床心理士・
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・
助産師・保健師

9. キャリア
コンサルタント

10. その他の
有資格者など

回答を控えます

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

佐賀県

佐賀県教育庁学校教育課

生徒支援室

- 24時間、365日対応
- 委託の有無について **未回答**

24時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

1. 自機関が主体となって
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、
悩みの解決 **未回答** して担わないこと
3. 子どもの話し相手となり、
悩みの解決までは主体となって担わないこと
4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)
の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

実施状況

年間のおおよその相談件数

未回答

(参考)令和2年の佐賀県の5-19歳の人口:119,237人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳

未回答

(Q3-3)

24時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

1. していない **未回答** していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

1. 全対象学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウント
の運用・紹介

5. Instagram アカウント
の運用・紹介

6. LINE アカウント
の運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

未回答

接続率についての調査

1. 行っていない **未回答** っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

1. 行っていない **未回答** っていない

(Q4-2)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6							
12							
18							
24							

(Q1-9)
(Q1-10)

未回答

委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外 **未回答** とする非営利団体
3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
4. その他

(Q1-11)

委託理由

未回答

(Q1-12)

対象

自主運営の場合

	在学中	不登校	中途退学
小学生	○	○	
中学生	○	○	
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	×
特別支援学校等	○	○	×

小学生未満	×
学校等に在学していない未成年	×
大学生 (20歳未満)	×
大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象者

委託運営の場合

	在学中	不登校	中途退学
小学生			
中学生			
高校生 (通信・定時制含む)			
特別支援学校等			

小学生未満	
学校等に在学していない未成年	
大学生 (20歳未満)	
大学生 (20歳以上)	

(Q2-1)

未回答

対象地域と対象属性

自主運営の場合

佐賀県内全域に ...



✓ 在住する子ども ✓ 在学する子ども

委託運営の場合

佐賀県内全域に ...

未回答

在住する子ども 在学する子ども

(Q1-5)
(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

未回答

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

未回答

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士・保健師
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など

未回答

11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士・保健師
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など

未回答

11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

熊本県

熊本県教育委員会

24 時間子供 SOS ダイヤルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、
悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、
悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）
の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

✓ 24 時間、365 日対応

✓ 一部時間帯で他機関へ委託

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0							
6						委託運営	
12						自主運営	
18							
24							

(Q1-9)

(Q1-10)

※ 祝日・年末年始は土日と同じ体制

委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体

2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体

✓ 3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業

4. その他

(Q1-11)

委託理由

夜間、深夜、休日等においても、
子ども達の相談に確実に対応できるようにするため

(Q1-12)

実施状況

年間のおおよその相談件数

公表不可

(参考) 令和2年の熊本県の5-19歳の人口: 245,631人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳

公表不可

(Q3-3)

24 時間子供 SOS ダイヤルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウント
の運用・紹介

5. Instagram アカウント
の運用・紹介

6. LINE アカウント
の運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	○
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	○

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

公表不可

(Q2-4)

委託運営

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 上記以外の心理カウンセラーなど
- 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者
- 4. 元教員など学校現場の経験者
- 5. その他

公表不可

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・助産師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など

✓ 11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

委託運営の場合

- 1. 臨床心理士・公認心理師
- 2. 弁護士
- 3. 社会福祉士・精神保健福祉士
- 4. 教員免許保持者
- 5. 婦人科医
- 6. 精神科医・心療内科医・思春期科医
- 7. その他医師
- 8. 看護師・助産師・保健師
- 9. キャリアコンサルタント
- 10. その他の有資格者など

分からない・把握していない

11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

大分県

大分県教育庁学校安全・安心支援課

- 24時間、365日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

24時間子供SOSダイヤルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0	委託運営						
6	委託運営						
12	自主運営						
18	委託運営						
24	委託運営						

※祝日・年末年始は土日と同じ体制

委託先の業種

- 1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
- 2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
- ✓ 3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
- 4. その他

(Q1-11)

委託理由

夜間や休日でも適切に対応できる

体制を確保するため

(Q1-12)

実施状況

年間のおおよその相談件数

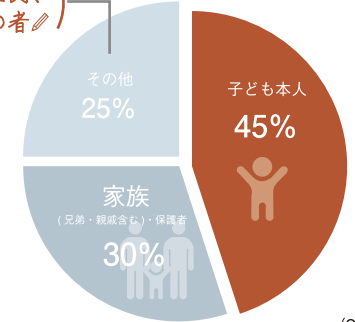
300件

(参考) 令和2年の大分県の5-19歳の人口: 151,684人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳

(詳細: 近隣住民、その他不明の者)



(Q3-3)

※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります

24時間子供SOSダイヤルの何らかの周知活動

- ✓ 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカルCM(テレビなど)

✓ 13. その他

(ホームページで紹介)

14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- ✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

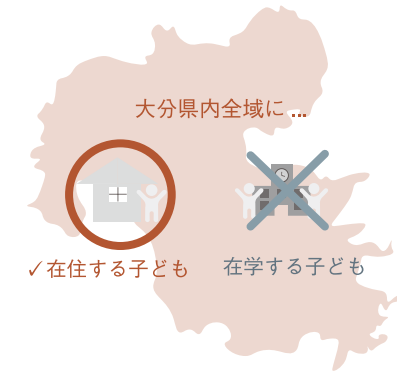
自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の管理職経験者

✓ 4. 元教員など学校現場の経験者

5. その他

委託運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者

✓ 4. 元教員など学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・精神保健福祉士

✓ 4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・助産師・保健師

9. キャリアコンサルタント

10. その他の有資格者など

11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

委託運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

2. 弁護士

✓ 3. 社会福祉士・精神保健福祉士

✓ 4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・助産師・保健師

9. キャリアコンサルタント

10. その他の有資格者など

11. 該当なし
(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

(Q2-5)

宮崎県

宮崎県教育委員会人権同和教育課

- 24 時間、365 日対応
- 一部時間帯で他機関へ委託

24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

- 自機関が主体となって
子どもの悩みの解決まで寄り添うこと
- 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、
悩みの解決 **未回答** して担わないこと
- 子どもの話し相手となり、
悩みの解決までは主体となって担わないこと
- 子どもの周囲にいる大人（親、先生など）
の悩みに寄り添い解決すること

(Q1-7)

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体

	月	火	水	木	金	土	日
0	委託運営						
6	委託運営						
12	自主運営						
18	自主運営						
24	委託運営						

(Q1-9)

※祝日・年末年始は終日委託運営

(Q1-10)

委託先の業種

- 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
- 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
- コールセンター等を主たるサービスとする民間企業
- その他

(Q1-11)

委託理由

未回答

(Q1-12)

実施状況

年間のおおよその相談件数

未回答

(参考) 令和2年の宮崎県の5-19歳の人口: 153,433人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳

未回答

(Q3-3)

24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

- 1. している
- 2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

- 1. 全対象学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

- 2. 一部の学校でのお知らせ等
(チラシ、ポスター等)の配布

- 3. 授業内での紹介

- 4. Twitter アカウント
の運用・紹介

- 5. Instagram アカウント
の運用・紹介

- 6. LINE アカウント
の運用・紹介

- 7. 児童館での周知

- 8. 図書館での周知

- 9. バスや電車などでの周知

- 10. 塾・習い事などでの周知

- 11. NPO などへの周知

- 12. ローカル CM(テレビなど)

- 13. その他

- 14. 何も実施していない

(Q3-2)

接続率についての調査

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-1)

利用者へのアンケート等の実施

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

(Q4-2)

対象

対象者

対象地域と対象属性

自主運営・委託運営同じ

自主運営・委託運営同じ

	在学中	不登校	中途退学
小学生	○	○	
中学生	○	○	
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	×
特別支援学校等	○	○	×

小学生未満	×
学校等に在学していない未成年	×
大学生 (20歳未満)	×
大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)



(Q1-5)

(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

自主運営の場合

1. 臨床心理士・公認心理師

2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の管理職経験者

4. 元教員など学校現場の経験者

5. その他

委託運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

2. 上記以外の心理士・カウンセラーなど

3. 元校長などの学校現場の管理職経験者

4. 元教員など学校現場の経験者

5. その他

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

自主運営の場合

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・助産師・保健師

9. キャリアコンサルタント

10. その他の有資格者など

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

委託運営の場合

1. 臨床心理士・公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・助産師・保健師

9. キャリアコンサルタント

10. その他の有資格者など

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

分からない・把握していない

(Q2-5)

沖縄県

沖縄県教育委員会義務教育課

24 時間子供 SOS ダイアルの主たる目的

✓ 1. 自機関が主体となって子どもの悩みの解決まで寄り添うこと

2. 自機関以外の関係機関の紹介や相談を促し、悩みの解決までは主体となって担わないこと

3. 子どもの話し相手となり、悩みの解決までは主体となって担わないこと

4. 子どもの周囲にいる大人(親、先生など)の悩みに寄り添い解決すること (Q1-7)

☑ 対応時間:

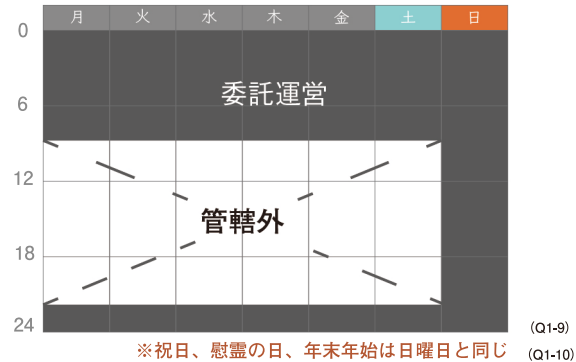
月曜～土曜: 夜間(22時～翌9時)

日、祝日、慰霊の日、年末年始: 24時間

☑ 全ての時間帯で他機関へ委託

運営体制について

おおよその時間帯ごとの運営主体



委託先の業種

1. 子ども支援を主たるサービスとする非営利団体
2. 子ども支援以外を主たるサービスとする非営利団体
3. コールセンター等を主たるサービスとする民間企業

✓ 4. その他

(子ども、大人を問わず支援サービスする民間企業)

(Q1-11)

委託理由

担当課職員での、夜間における電話対応及び専門的相談、支援が難しいため

(Q1-12)

実施状況

年間のおおよその相談件数

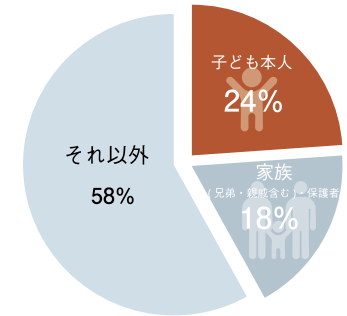
584 件

※令和元年度値

(参考) 令和2年の沖縄県の5-19歳の人口: 251,654人

(Q1-6)

相談者のおおよその内訳



※回答のまま記載しているため100%にならない場合があります

(Q3-3)

24 時間子供 SOS ダイアルの何らかの周知活動

✓ 1. している

2. していない

(Q3-1)

周知活動の内容詳細

✓ 1. 全対象学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

2. 一部の学校でのお知らせ等 (チラシ、ポスター等) の配布

3. 授業内での紹介

4. Twitter アカウントの運用・紹介

5. Instagram アカウントの運用・紹介

6. LINE アカウントの運用・紹介

7. 児童館での周知

8. 図書館での周知

9. バスや電車などでの周知

10. 塾・習い事などでの周知

11. NPO などへの周知

12. ローカル CM(テレビなど)

13. その他

14. 何も実施していない

(Q3-2)

利用者へのアンケート等の実施

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-2)

接続率についての調査

1. 行っている

✓ 2. 行っていない

(Q4-1)

アンケートを行っていない理由

実施が難しいため

対象

対象者

	在学中	不登校	中途退学		
小学生	○	○		小学生未満	○
中学生	○	○		学校等に在学していない未成年	○
高校生 (通信・定時制含む)	○	○	○	大学生 (20歳未満)	×
特別支援学校等	○	○	○	大学生 (20歳以上)	×

(Q2-1)

対象地域と対象属性



(Q1-5)
(Q2-2)

対応者の専門性

相談員の属性

✓ 1. 臨床心理士・公認心理師

✓ 2. 上記以外の心理士・
カウンセラーなど

✓ 3. 元校長などの学校現場の
管理職経験者

✓ 4. 元教員など
学校現場の経験者

✓ 5. その他
(精神保健福祉士、
社会福祉士)

(Q2-4)

相談員への何らかの資格者によるアドバイスやスーパーバイズの有無

1. 臨床心理士・
公認心理師

2. 弁護士

3. 社会福祉士・
精神保健福祉士

4. 教員免許保持者

5. 婦人科医

6. 精神科医・
心療内科医・思春期科医

7. その他医師

8. 看護師・
助産師・保健師

9. キャリア
コンサルタント

10. その他の
有資格者など

11. 該当なし

(アドバイス・スーパーバイズは実施していない)

分からない・
把握していない

(Q2-5)